



上青木中だより

凡事徹底

～当たり前のことが当たり前にできる生徒・学校・教職員～

迷わず行けよ 行けばわかるさ

校長 小野 毅

2年生が中心となった新人戦では、3年生が活躍したときと同じように、たくさんの部で上位入賞しました。その中で、陸上、男女ソフトテニス、男女卓球、柔道、剣道は県大会への出場を決めました。3年生が抜け、夏の厳しい練習を乗り越えてきた結果だと思います。今回の結果に満足することなく、来年6月の学校総合体育大会で、さらに良い結果が出せることを期待します。また、駅伝部は10月19日に行われた川口市駅伝競走大会において、男子2位、女子6位という素晴らしい成績を収めました。男子は県大会への出場権を獲得しました。さらに、科学部は、川口市科学教育振興展覧会と北足立地区展覧会において最優秀賞を受賞し、埼玉県中央展覧会へ出展し、優秀賞という素晴らしい成績を収めました。このように頑張っている生徒のいる学校の校長として、誇らしく思います。

さて、先日、元プロレスラーのアントニオ猪木さんが亡くなりました。プロレス好きだった私の少年時代のスーパーヒーローでした。

「いのき、ボンバー、イエー！」という掛け声とともに入場する曲に興奮し、試合に勝利したあとの「1、2、3、ダァー」という雄叫びをテレビの画面越しに真似をしたことを思い出します。

猪木さんがプロレスラーを引退するときに、スピーチした『道』という詩がとても印象に残っています。

道

この道を行けばどうなるものか
危ぶむなかれ 危ぶめば道はなし

踏み出せば

その一足が道となり その一足が道となる
迷わず行けよ 行けばわかるさ

新しいことを始める時や状況を変えるために行動を起こす時、迷ったり不安を感じたりします。この選択は正しいのだろうか。このやり方で正しいのだろうか。本当にうまくいくのか。失敗したらどうしよう。そんな迷いや不安を猪木さんの詩は、一步を踏み出す勇気を与えてくれます。自分の選択が正しかったのかどうか、自分の行動が良かったのかどうか、成功だったのか。それはやってみないとわからないのです。誰だって失敗したくありません。しかし、一步踏み出さなければ、何も無いのです。

9月から3年生を対象とした校長面接を実施しています。「将来は、このような仕事に就きたい」という人生設計を考えている生徒、目標の進路に向けて努力している生徒など、しっかりと将来を見据えています。夢の実現に向けて、子どもが一步踏み出すための勇気を与えられる大人になりたいと感じます。